

# ふうりん通信

# 第1号

はじめまして！  
ふうりんちゃん  
です



令和2年 6月 吉日

## 私達にできること...

店頭でのマスク不足、購入困難な時に、外来患者様がマスクなしで通院されたり、使いまわしにより汚れたマスクを着用されている姿を見かけました。職員の中から、「困っている方々へマスクの提供ができないだろうか」と声があがりました。メイクア、リハビリ、地域連携スタッフが布を用意したり、型を取ったり、ミシンを使って製作を始めました。その甲斐あって、通院患者様、メイクア利用者様、絆力フェ利用者様、入院患者様のご家族へマスクを郵送する事が出来ました。また、絆力フェ休止中のため、利用者の方から「カフェがなくて淋しいわ」という声があり、これもまた、職員の中から Stay home 期間中を少しでも楽しく過ごしてもらうために何かできないかと考えました。OTさんを中心に、塗り絵やタオル体操、料理レシピ等準備し、また、交換ノートで様子をお知らせ頂く事を始めました。

国民が、病院が苦境の中、「病院職員として「何かできるのか」と考え行動に移した事は、地域や吉川病院利用者の方々への信頼の礎になったと思います。



## 写真で近況報告

令和2年2月頃より全国的な新型コロナウイルスの感染拡大が始まりました。当院においても3月1日より入院患者様への面会中止の対応を始めました。そんな中、病院職員より、「心配されているご家族様へ、お父様、お母様、おじいちゃん、おばあちゃんの写真と、近況を伝える手紙を送ろう」という声があがりました。

新型コロナ対策で忙しい中、各病棟、リハビリ、地域連携、事務所、病棟アシスタント等各スタッフの協力を得て、着々とご家族様へ郵送する事が出来ました。その後、ご家族様より多くの感謝のお手紙やお言葉を頂きましたので下記に掲載します。

## マスコット決定!!

吉川病院接遇委員会広報紙「ふうりん」を発行するにあたり、広報紙内のナビゲーターマスコットのキャラクターデザイン募集に多数の案を頂きました。クオリティーの高い作品から、ふうりんちゃん Family 案や wind bell 案、音符や風をイメージしたキャラクター等、どれも素敵な作品です。何より、興味を持って応募して頂いた事に感謝感激です。

薬局: 佐々木さん、鈴木さん、前田さん

外来: 山本さん 3-4 スタッフ

★ 医事課: 三原さん 介護支援室: 吉川さん

2-3: 藤田さん、池田さん、Dr.岩間、行野さん

リハ: 竹本さん、藤本さん、寺岡さん

選考の結果、医事課の三原さんの原案に決定致しました。

ご応募された皆様には参加賞を病院から頂きました!

たくさんのご応募ありがとうございました。

明けない夜はない  
＊  
おっしゃる通い!!



## ご家族様からの心温まるメッセージ

「先日は、叔母のリハビリ中の写真を送って頂きありがとうございました。お忙しい中、色々お心遣い下さっていること、感謝しております。日々気持ちの安まらない状況が続いていますが、「明けない夜はない」と信じ、自粛を心掛けていきたいと思っております。

「母の写真とリハビリ支援シート他送付下さいましてありがとうございました。コロナ対策の為、会いに行けず心配な毎日でしたが、写真を送って下さり、様子が少しわかって嬉しく思います。心温まりました。また、手作りマスクも入っていて、ホッコリしました。」

初めてミシン使ったスタッフもいるんじゃない?



「この度は、コロナウイルス感染で混乱が続く大変な中、写真と様子を御送付頂き誠にありがとうございました! 1か月あまり面会が出来ずにいたので、本当に感謝致しております。あまりに嬉しくてメールさせて頂きました」

「患者と家族を大切に思っ下さる様子がいっばいに溢れるレター楽しみです。この大変な中での思いやり豊かな行動は、一体どこから生まれてくるのか? 以前から思っておりました。それは、やはり、院内での全ての人への日々の徹底した「笑顔の挨拶」この徹底そのものに表れていると確信しました。「素敵なマスク、貴重なマスク」感謝です。」

「先日は母の写真、近況と共に忙しい中、手作りのマスクをお送り頂き、ただただ感謝しております。病院レターにより色々な取り組みもよくわかり、遠く離れている姉にもラインで送る事ができました。」